

サケを『北海道の魚』に

北海道のシンボルとして、木（エゾマツ）、花（ハマナス）、鳥（タンチョウヅル）が制定されていますが魚はありません。次の理由から、道民の魚として『サケ』を北海道のシンボルに制定することを望みます。

道民の生活文化に密接した歴史とロマン

単に食料にとどまらず、北の生活文化にも密接に受け継がれ、その母川回帰の生態は、多くの人々にロマンを与えています。

「豊かなふるさと」のシンボル

サケのふるさとは、豊かな自然生態系を持つ川や森です。それは、子ども達のかけがえのない「豊かなふるさと」でもあります。

優れた教材

サケは、生物教科の教材にとどまらず、環境問題、命の問題、食育、更には、産業、輸出入問題まで発展させることの出来る優れた教材です。

造る漁業・資源管理の模範生

120年の歴史に培われた人工ふ化技術は、今後の漁業資源の維持・管理のシンボルです。

温暖化防止運動に寄与

冷水性であるサケの保護は、温暖化防止に対する関心を喚起させます。

自然・健康食サケの普及と魚食習慣の回復

自然健康食材として道産秋サケの認識を広め、魚食習慣の回復に寄与します。

国際交流と青少年の育成

サケを通して築かれてきた北太平洋を共有する国々の国際協調が一層強調され、すでに定着している青少年のサケ学習国際交流の進展を促し、青少年育成への効果を高めます。